

—映画を革新したネオレアリズモの巨人—

ロベルト・ロッセリーニの世界

THE ESSENCE OF ROSSELLINI

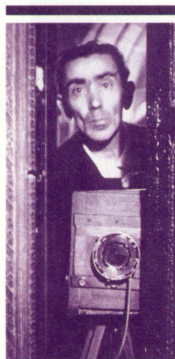
ロッセリーニ没後15周年・バーグマン没後10周年特別ロードショー



ROBERTO ROSSELLINI

戦後映画はここから生まれた！

イングリッド・バーグマン、アンナ・マニャーニ、F・フェリーニらとの
不滅の6作品を一挙公開。



「ロッセリーニなしでは生きられないってことを忘れるなよ。」

—ベルトルッチ「革命前夜」より—

アモーレ 1948

■監督・脚本/ロベルト・ロッセリーニ
■原作/ジャン・コクトー「人間の声」
■撮影/ロベール・ジュイヤール、アルド・トンティ
(出演)アンナ・マニャーニ
フェデリコ・フェリーニ

殺人カメラ 1948-1952

■監督・脚本/ロベルト・ロッセリーニ
■脚本/セルジオ・アマティ
■撮影/ディノ・サントーニ、エンリコ・ベッティ・ベルッティ
(出演)ジェナロ・ピサノ、ウィリアム・タブス
ジョヴァンニ・アマート

ストロンボリ 神の土地 1949

■監督・脚本/ロベルト・ロッセリーニ
■脚本/アート・コーン、セルジオ・アマティ
■撮影/オテット・マルテッリ
(出演)イングリッド・バーグマン
マリオ・ヴィターレ、レンツォ・チェザーナ

神の道化師、フランチェスコ 1950

＜カトリック中央協議会広報部推薦＞
■監督・脚本/ロベルト・ロッセリーニ
■原作/「聖フランチェスコの小さな花」作者不詳
■脚本/フェデリコ・フェリーニ
■撮影/オテット・マルテッリ
(出演)アルド・ファブリーツィ、アラベラ・ルメートル

イタリア旅行 1953

■監督/ロベルト・ロッセリーニ
■原案・脚本/ロベルト・ロッセリーニ
ウィタリアーノ・フランカーティ
■撮影/エンツォ・セラフィン
(出演)イングリッド・バーグマン、ジョージ・サンダース

不安 1955

■監督・脚本/ロベルト・ロッセリーニ
■原作/シュテファン・ツヴァイク
■脚本/セルジオ・アマティ
■撮影/カルロ・カルリーニ、ハインツ・シュナッケルツ
(出演)イングリッド・バーグマン、マティアス・ウィーマン

配給 大映株式会社



ロベルト・ロッセリーニの世界

THE ESSENCE OF ROSSELLINI

解説

近年、世界的に再評価の高いロベルト・ロッセリーニ。かつて「戦争三部作」により不動の名声を確立しながらも、その後の長い年月、十全な理解が得られず苦闘を強いられた男が、今再び脚光を浴びています。日本では未公開作品が余りにも多く、さながら「暗闇の巨人」といった存在のまま時間が過ぎていきました。しかし、ようやく昨年、4本の未公開作品を含めた40〜50年代

の代表全10作品が、特集「ロベルト・ロッセリーニの世界」として上映され、偉大な映画作家の真の姿が明らかにされました。今回、ロッセリーニ没後15周年、そして彼との宿命的な愛におちたイングリッド・バーグマンの没後10年目にあたる1992年、再編成による特集「ロベルト・ロッセリーニの世界」を公開します。彼の最高傑作と言われるながら長らく未公開に終っていた『神の道化師、フランチェスコ』、傑作コメディ『殺人カメラ』、アンナ・マニャーニとF・フェ

リーニが一対一の演技を見せる『アモーレ』、そして『イタリア旅行』に代表されるバーグマン主演の3作品、以上6作品をさらに精選。ネオレアリズモの巨人・ロッセリーニの今なお色褪せることのない珠玉の名編を、この機会にぜひお見逃しなく。

— Roberto Rossellini —

1906年5月8日ローマ生。'36年から6本の短編を製作し、'41年長編第一作目にあたる『白い船』を発表。以後、35本の劇映画と9本のドキュメンタリーを監督し、特に'45年の『無防備都市』と続く『戦火のかなた』で国際的な名声を得る。1977年6月3日、心臓発作で死去。イングリッド・バーグマンとの間に生れた3人の子供のうち、イザベラは現在女優として活躍中である。

ストロンボリ 神の土地

1949年/イタリア/アメリカ合作/モノクロ/スタンダード/上映時間:1時間39分



カーリン…イングリッド・バーグマン
アントニオ…マリオ・ヴィターレ
教区司祭…レンツォ・チェザーナ

●監督・原案・脚本…ロベルト・ロッセリーニ
●脚本…アート・コーン/セルジオ・アミティ
ジャン・パオロ・カレッガーリ/レンツォ・チェザーナ

『無防備都市』『戦火のかなた』に魅了されたイングリッド・バーグマンが、ロッセリーニに熱烈な手紙を送ったことから生れた作品。辺境の荒れて痩せた土地に移り住むことになったヒロインが、やがてその風土を受け入れようとする神秘的なラストに至るまでを、火山の噴火、雄渾なマグロ漁などの生活のディテールを丁寧に拾い上げながら描く。撮影中ふたりの仲が深まり、家族を捨てロッセリーニのもとに走ったバーグマンにハリウッドは騒然とした。

アモーレ

1948年/イタリア/モノクロ/スタンダード/上映時間:1時間19分



「人間の声」(電話で話している女)…アンナ・マニャーニ
「奇蹟」(ナンニーナ、羊飼いの)…アンナ・マニャーニ
放浪者…フェデリコ・フェリーニ

●監督・脚本…ロベルト・ロッセリーニ
●原作…ジャン・コクトー「人間の声」
●原案・脚本…フェデリコ・フェリーニ/トウリオ・ピネッリ

ロッセリーニがアンナ・マニャーニのために撮った「人間の声」「奇蹟」の二つのエピソードからなるオムニバス映画。どちらにもむくわれぬ愛をめぐる話をマニャーニがほとんど独演し(「人間の声」は一人芝居)、舞台も一話がいずれ、二話が屋外と鮮やかなコントラストをなしている。『黄金の馬車』で再び脚光を浴びるマニャーニのもう一つの代表作。なお第二話では、若き日のフェデリコ・フェリーニがなんと俳優として出演している。

神の道化師、フランチェスコ

1950年/イタリア/モノクロ/スタンダード/上映時間:1時間25分



アッシジのフランチェスコ…ナザリオ・ジェラルディ修道士
専制君主ニコライ…アルド・ファブリーツィ
キアラ…アラベラ・ルメートル

●監督・脚本…ロベルト・ロッセリーニ
●原作…「聖フランチェスコの小さな花」作者不詳
●脚本…フェデリコ・フェリーニ

ロッセリーニの傑作中の傑作として公開が熱望されていた作品。フランコ・ゼフィレッリの『プラザー・サン シスター・ムーン』やミッキー・ローク主演の『フランチェスコ』で、何度が映画化されてきたアッシジの聖フランチェスコを、13世紀当時のニュース映画を見ているような肌触りで撮り、ネオレアリズモの最高の達成と言われている。精神の輝きそのものを捉えた演出、溢れる詩情、卓抜なユーモアなど、まさに比類なき映画といえよう。

イタリア旅行

1953年/イタリア/モノクロ/スタンダード/上映時間:1時間23分



カテリーヌ・ジョイス…イングリッド・バーグマン
アレックス・ジョイス…ジョージ・サンダース
ポール・デュボン…ポール・ミューラー
●監督・原案・脚本…ロベルト・ロッセリーニ
●原案・脚本…ウィタリアーノ・プランカーティ

ゴダールがこの映画を手本に『勝手にしやがれ』を撮るなど、ロッセリーニの作品のうちでも極めて重要なものとして定評がある。結婚後8年がたち、溝のできてしまった夫婦の話が、風光明媚なナポリを中心に展開される。日常そのもののような時間を捉え、ひたすら二人の現在の状態だけを追い、心理のヒタを長廻しですくいあげていくスタイルは、後の映画に多大な影響を与えた。『イタリア旅行』の出現で、すべての映画は10年古くなってしまった(ジャック・リヴェット)。

不安

1954年/西ドイツ/イタリア合作/モノクロ/スタンダード/上映時間:1時間15分



イレネ・ワグナー…イングリッド・バーグマン
アルベルト・ワグナー…マティアス・ウィーマン
エンリコ・クルト・クローイガー

●監督・脚本…ロベルト・ロッセリーニ
●原作…シュテファン・ツヴァイク
●脚本…セルジオ・アミティ/フランツ・ロイベルク

ロッセリーニとバーグマンの協力した最後の作品。夫のために製薬会社を経営するヒロインが経験する愛の破局と再生を描く。『イタリア旅行』の明るい光の感じと対比的に、この作品では画面に溢れる寒さとともに影の暗さが全体のキー・トーンになっている。表現主義的ともいえるが、一方で当時ちょうど流行していたいわゆるフィルム・ノワールの調子とも、同時代的な雰囲気と共有している。この時期の作品にたいして当時の批評家と観客は冷たかったが、近年評価が逆転し始めている。

殺人カメラ

1948-52年/イタリア/モノクロ/スタンダード/上映時間:1時間23分



チェレスティーノ・写真屋…ジャンナ・ロ・ピサノ
アメリカ娘の父…ウィリアム・タブス
村長…ジョバンニ・アマート

●監督・脚本…ロベルト・ロッセリーニ
●原案…エドゥアルド・デ・フィリッポ/ファブリツィオ・サラザーニ
●脚本…セルジオ・アミティ/ジャンカルロ・ヴィコレッツィ

アマルフィ海岸の村に住む写真屋のチェレスティーノは、ある日奇妙な男から、カメラのシャッターを押すだけで悪人をあの世に送ることができる不思議な力を受ける。彼は貧しい村人たちに苦しめる悪人どもを一掃しようとするが、彼の意に反して悪人はいっそうに減らない。『無防備都市』などのロッセリーニのイメージからは、びっくりするような快調な喜劇。ヨーロッパでも、公開当時あまり上映されなかった知られざる傑作である。

2月22日(土)より
ロッセリーニ没後15周年
バーグマン没後10周年
特別ロードショー

特別鑑賞券¥1,300発売中 当日 一般¥1,700 大高¥1,400

上映期間	作品名	連日
2/22(土)▶2/28(金)	ストロンボリ 神の土地	11:00 2:40 6:20
	イタリア旅行	1:05 4:45 8:25
2/29(土)▶3/6(金)	アモーレ	12:00 3:10 6:20
	不安	1:45 4:55 8:05
	殺人カメラ	11:30 2:55 6:20
3/7(土)▶3/13(金)	神の道化師、フランチェスコ	1:20 4:45 8:10

JR有楽町駅一中央口銀座側

有楽シネマ

03(3201)3066